



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ナック
 コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 寺岡 豊彦
 (氏名) 川上 裕也

TEL 03-3346-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	63,388	25.0	3,004	29.5	3,018	29.9	1,633	61.3
25年3月期第3四半期	50,710	16.1	2,319	24.0	2,324	26.7	1,012	11.1

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,574百万円 (55.0%) 25年3月期第3四半期 1,015百万円 (13.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	98.41	—
25年3月期第3四半期	61.43	—

(注)当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	40,755	14,787	36.3	889.40
25年3月期	29,971	13,648	45.5	824.06

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 14,787百万円 25年3月期 13,648百万円

(注)当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	31.00	61.00
26年3月期	—	17.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期の配当については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,400	28.6	5,150	15.9	5,170	16.0	2,850	15.5	171.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	18,719,250 株	25年3月期	18,719,250 株
26年3月期3Q	2,093,052 株	25年3月期	2,156,734 株
26年3月期3Q	16,596,912 株	25年3月期3Q	16,485,949 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における日本企業の経営環境は、株価上昇や雇用環境の改善を背景に個人消費に回復傾向が見られ、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあって、住宅着工も大幅に増加しました。しかし一方では、円安による原材料やエネルギーコストの上昇と、4月の消費増税に対する影響が懸念され、景気の先行きにはなお注視が必要な状況です。

当社グループの事業領域である住宅業界は、2013年の新設住宅着工戸数が980千戸（前年比11.0%増）となり、堅調に推移しました。他方で、小売・サービスの業界では業種・業態を超えた企業間競争が進み、予断を許さない経営環境にあります。

このような状況の下、当社グループでは、創業時からの基本戦略である「コングロマリット経営」の基盤を強化し、かつ中期目標に掲げる売上高1,000億円の達成に向けて積極的な販売促進を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高63,388百万円（前年同期比25.0%増）、営業利益3,004百万円（同29.5%増）、経常利益3,018百万円（同29.9%増）、四半期純利益1,633百万円（同61.3%増）となりました。

セグメント別業績はつぎの通りです。

なお、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等892百万円があります。

[クリクラ事業]

東日本大震災後の新規ユーザーの急激な伸びが一服し、その反動も解消しつつあり、市場の伸び率は震災前の水準に戻りました。しかし、大手企業を含めた新規参入が増え、市場競争が激化しています。この環境下で、当期間も「クリクラ」ブランドの浸透に努め、ボトルの販売本数が増加しました。しかし、加盟店向けのウォーターサーバー販売数が伸び悩み、売上高は10,217百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

利益面では、営業人員の増加による人件費の増加と、引き続き販売促進費を投入したことにより、営業利益は195百万円（同44.7%減）となりました。

[レンタル事業]

主力のダストコントロール商品では、業務用市場の経費削減傾向が一服しつつあります。しかし、営業の人員不足が続いており、売上の増加には至っておりません。法人向けの定期清掃サービスは、販促の強化により前年比で伸長しています。害虫駆除関連商品では、新商品の販売が計画を下回りましたが、代理店部門が好調に推移しました。

この結果、売上高は9,273百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は1,353百万円（同9.2%増）となりました。

[建築コンサルティング事業]

建築ノウハウの販売では、自然素材住宅やデザイナー住宅の新商品が好調に推移しました。また、太陽光発電システムを中心とした部資材販売では、既築住宅用の市場が落ち込んだものの、原価率の改善や販管費のコスト削減が奏功し、売上・利益ともに伸長しました。

この結果、売上高は3,782百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益は660百万円（同126.8%増）となりました。

[住宅事業]

消費増税前の駆け込み需要を背景に、新設住宅着工戸数が4年連続のプラスとなりました。この環境下で、出店効果もあり受注が大きく増加し、また商品施策により販売単価が上昇したことから、売上高は35,318百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

利益面でも、出店費用や原材料価格の上昇分を売上増で吸収し、営業利益は1,534百万円（前年同期比25.1%増）に伸長しました。

受注状況につきましては、消費増税前の駆け込み需要が一段落したものの、当四半期末における受注残が1,739棟（前年同期1,393棟）となっております。

株式会社レオハウスでは、当四半期に住まいステージ横浜、鹿島展示場を開設し、店舗数は46支店46展示場となりました。

また、株式会社ジェイウッドでは秋田モデルハウスを開設し、同社の展示場は4ヶ所となりました。

[通販事業]

平成25年7月に、化粧品・健康食品の通販を手掛ける株式会社JIMOSを当社グループに加え、新たな事業領域として通販事業に参入しました。

化粧品の主力ブランド「マキアレイベル」と、自然素材由来の成分を主とする「Coyori」ブランドを中心に、健康食品の「代謝生活CLUB」、小売店への卸販売を行うホールセール事業、および通販支援事業で構成されます。

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,798百万円、営業利益は152百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて10,784百万円増加し、40,755百万円となりました。これは主に第2四半期より株式会社JIMOSおよび株式会社ジェイウツの2社が連結対象子会社となったことにより当該2社の現金預金、売掛金、たな卸資産、ソフトウェア等の資産が合算され、連結子会社化にともなうのれん等が計上されたこと、そして住宅事業で未成工事支出金が増加し、さらにはクリクラ事業で建設中のプラントに関する建設仮勘定が増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて9,645百万円増加し、25,967百万円となりました。これは主に上記2社の買掛金、未払金等の負債が合算されたこと、また子会社取得にともなう借入金の増加および住宅事業で未成工事受入金が増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ1,138百万円増加し、14,787百万円となりました。これは主に四半期純利益1,633百万円の計上等により利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、ほぼ計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成25年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,420,581	7,296,006
受取手形及び売掛金	2,759,238	3,606,974
商品及び製品	1,625,659	2,499,246
未成工事支出金	1,834,887	4,084,806
原材料及び貯蔵品	87,447	201,292
その他	2,385,787	3,150,352
貸倒引当金	△102,417	△102,363
流動資産合計	17,011,184	20,736,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,843,373	4,983,919
土地	2,021,629	2,051,608
その他（純額）	1,685,649	3,927,374
有形固定資産合計	8,550,651	10,962,902
無形固定資産		
のれん	360,182	2,452,426
その他	336,385	2,678,037
無形固定資産合計	696,567	5,130,463
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,272,794	2,454,353
その他	1,854,327	1,992,365
貸倒引当金	△414,460	△521,201
投資その他の資産合計	3,712,661	3,925,517
固定資産合計	12,959,881	20,018,883
資産合計	29,971,065	40,755,198

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,308,981	5,102,279
短期借入金	673,574	1,174,424
未払法人税等	902,807	558,458
未成工事受入金	4,166,888	9,194,877
賞与引当金	735,676	443,571
引当金	290,971	429,888
その他	3,114,854	3,895,021
流動負債合計	14,193,753	20,798,522
固定負債		
長期借入金	555,714	3,354,521
引当金	—	93,401
資産除去債務	620,955	622,534
その他	952,155	1,098,942
固定負債合計	2,128,824	5,169,399
負債合計	16,322,578	25,967,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	910,946	974,850
利益剰余金	10,974,729	12,065,222
自己株式	△1,437,210	△1,397,426
株主資本合計	14,448,466	15,642,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,013	6,883
繰延ヘッジ損益	4,325	350
土地再評価差額金	△866,318	△862,604
その他の包括利益累計額合計	△799,978	△855,370
純資産合計	13,648,487	14,787,276
負債純資産合計	29,971,065	40,755,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	50,710,816	63,388,767
売上原価	31,393,179	38,273,275
売上総利益	19,317,636	25,115,492
販売費及び一般管理費	16,997,982	22,111,450
営業利益	2,319,653	3,004,042
営業外収益		
受取利息	11,812	12,684
受取配当金	14,215	9,470
受取地代家賃	4,428	4,095
受取手数料	10,180	14,889
その他	36,761	49,846
営業外収益合計	77,396	90,986
営業外費用		
支払利息	27,408	37,194
減価償却費	9	—
為替差損	24,247	20,663
その他	21,183	18,760
営業外費用合計	72,850	76,618
経常利益	2,324,200	3,018,410
特別利益		
投資有価証券売却益	36,473	101,055
特別利益合計	36,473	101,055
特別損失		
固定資産処分損	8,190	30,973
減損損失	—	5,686
創業者功労金	500,000	—
その他	—	1,325
特別損失合計	508,190	37,985
税金等調整前四半期純利益	1,852,483	3,081,480
法人税、住民税及び事業税	651,091	1,282,380
法人税等調整額	188,714	165,875
法人税等合計	839,806	1,448,255
少数株主損益調整前四半期純利益	1,012,677	1,633,224
四半期純利益	1,012,677	1,633,224

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,012,677	1,633,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	△55,129
繰延ヘッジ損益	2,495	△3,975
その他の包括利益合計	2,866	△59,105
四半期包括利益	1,015,544	1,574,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,015,544	1,574,119
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

i 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサル ティング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,152,120	9,081,659	3,086,878	28,390,157	50,710,816	—	50,710,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215	3,529	—	—	3,745	△3,745	—
計	10,152,336	9,085,189	3,086,878	28,390,157	50,714,561	△3,745	50,710,816
セグメント利益	353,038	1,239,275	291,232	1,226,443	3,109,989	△790,335	2,319,653

(注) 1. セグメント利益の調整額△790,335千円には、セグメント間取引消去・その他調整額92,238千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△882,574千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

i 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	クリクラ 事業	レンタル 事業	建築コンサル ティング 事業	住宅 事業	通販 事業 (注)1	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,217,145	9,272,430	3,782,499	35,318,558	4,798,134	63,388,767	—	63,388,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	851	1,202	—	—	—	2,054	△2,054	—
計	10,217,997	9,273,633	3,782,499	35,318,558	4,798,134	63,390,822	△2,054	63,388,767
セグメント利益	195,151	1,353,809	660,524	1,534,164	152,400	3,896,049	△892,006	3,004,042

(注) 1. 第2四半期連結会計期間に、株式会社JIMOS社を子会社化したことにより、新たに通販事業を報告セグメントに追加しております。

2. セグメント利益の調整額△892,006千円には、セグメント間取引消去・その他調整額69,341千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△961,348千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ii. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年7月12日付で株式会社JIMOSの発行済株式総数の100%の株式を取得し同社を連結子会社といたしました。これにより、新たに通販事業を報告セグメントに追加しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、2,087,241千円であります。

- (4) 重要な後発事象
該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第3四半期 平成24年4月1日～ 平成24年12月31日	当第3四半期 平成25年4月1日～ 平成25年12月31日	前第3四半期 平成24年12月31日現在	当第3四半期 平成25年12月31日現在
住宅事業	31,832,677	41,805,337	23,779,654	30,823,343